

里塚斎場の再整備に関する説明会（第5回）【議事概要】

1 日時

令和7年12月2日（火）18時00分から20時20分まで

2 場所

羊ヶ丘通町内会館（札幌市清田区美しが丘3条5丁目5-15）

3 主催者

札幌市

4 出席者

- (1) 札幌市 保健福祉局ウェルネス推進部施設担当部長
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課長
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課斎場担当係長ほか
- (2) 住民等 約40名

5 説明会概要

- (1) 主催者挨拶（施設担当部長）

- (2) 説明（施設管理課長）

ア はじめに

- ・ 里塚斎場は、供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進行しています。
- ・ 市内の火葬件数は、令和36年頃まで増加することが見込まれます。
- ・ 市民の火葬需要に安定的に応えるため、老朽化した里塚斎場の再整備について検討しています。
- ・ 清田区町内会連絡協議会会長会議には事前に説明し、説明会については了解を得ていますが、地下鉄東豊線の清田区への延伸が実現していない状況で、住宅地に近い場所への建替えは受け入れられないとの意見をいただいている。
- ・ 市の火葬場の現状、課題、再整備の検討状況を説明し、率直な意見を伺いたいと考えています。

イ 市内の火葬場について

- ・ 里塚斎場（南東）と山口斎場（北西）の2斎場体制で対応しており、それぞれ豊平川を挟んだ東側と西側のエリアを主な利用区域としています。
- ・ 里塚斎場の立地選定の経緯については、昭和50年代に平岸火葬場の老朽化等のため火葬場新設が計画され、市内複数の候補地から、切土や盛土を必要としない地形・地勢であることや主搬入路が住宅地を通らないこと等を総合的に評価し、里塚が最適地として選定されました。
- ・ 候補地選定後の地域への説明の段階では、地元町内会から反対の声が上がる中、町内会連絡会が設置した「火葬場に関する特別委員会」で検討を進めていただきました。その結果、清田区の分区や地下鉄東豊線延伸、羊ヶ丘通の完成など、14項目からなる要望書が提出され、昭和56年3月に火葬場建設を了承いただきました。
- ・ 要望書は、市が要望に善処することを条件に建設を容認するとの内容であり、現在までに実現された事柄もあれば、実現に至っていないものも残されています。
- ・ 要望事項のうち、清田区の分区については平成9年に、羊ヶ丘通については、平成2年に厚別東通まで開通し、平成29年に全面開通しました。一方で、公立大学などの誘致については実現していません。
- ・ また、東豊線については、平成6年に豊水すすきの駅から福住駅間が開業して以降、延伸は進んでいない状況にあり、平成23年に事業採算性を検証した際に黒字化が難しいとされ、現在に至っています。

- ・ こちらについては、地域の方を中心とした地下鉄東豊線建設促進期成会連合会が現在も活動しており、今年も10月27日に地域の思いを伝えるために、市長に要望書を提出しています。
- ・ 市長は、地域の熱い思いとバスの減便で不便になっている現状を重く受け止めていますが、将来にわたり赤字が膨らむ計画は責任を持った形で作れないことから、現在はいろいろな形で調査等を含めて動いている段階であるといった趣旨の回答をしており、清田地区町内会連合会各会長からは進展がないことに不満の声があります。
- ・ 山口斎場の立地については、豊平川西側を主な利用エリアとして、里塚斎場との位置関係も考慮のうえ、複数の候補地から手稻山口が候補地として選定されました。

ウ 火葬場の課題について

- ・ 里塚斎場は築40年で、火葬炉も令和16年頃には入れ替えが必要となります。山口斎場も令和18年頃には全面改修が必要となります。
- ・ 令和6年度の市内火葬件数は26,400件で、里塚・山口それぞれの火葬能力を超えてます。山口斎場が全面改修で休止した場合、里塚斎場だけで市内の火葬需要（最大令和36年に32,800件見込み）に対応することは困難です。

エ 再整備について

災害時のリスク分散や利用者の利便性を踏まえると、現在の里塚・山口の2斎場配置が最適であり、里塚斎場の再整備は里塚で行う必要があると考えています。そのうえで山口斎場が全面改修の間は里塚の現斎場と新斎場で対応し、山口斎場の全面改修終了後に現里塚斎場を廃止する考えです。

オ 新斎場の整備候補地について

現里塚斎場の敷地内、隣接地、近接地（里塚霊園内の円形芝生広場）を比較検討しました。

カ 整備候補地の比較検討について

- ・ 敷地内は、現斎場と同位置であり周辺住環境への影響が少ないですが、現斎場稼働中の工事となり、利用者の安全確保や駐車スペース確保が困難で、設計の自由度が低く、また、工事中の騒音で現斎場の静謐性が保てない恐れがあります。
- ・ 隣接地は、敷地内と同様、周辺住環境への影響が少ないですが、急傾斜地のため盛土造成が必要となり、地盤沈下や土砂災害リスクがあり、工事中の安全確保が困難で、樹木の伐採による自然環境への影響が懸念されます。
- ・ 近接地の円形芝生広場は、平坦な地形で盛土造成が不要で災害リスクが低く、また、現斎場と一定の距離があり、工事中の会葬者の安全や駐車スペースの確保ができる一方、現斎場から住宅地側に約450m近づくこととなるため、工事中の騒音・振動、完成後の景観への配慮が必要です。
- ・ 災害リスクの低減と会葬者の安全確保を前提として比較した結果、敷地内や隣接地での再整備は難しく、周辺住環境に配慮しつつ円形芝生広場を整備候補地とすることが最適であると判断しました。

キ 里塚斎場（現斎場と新斎場）と山口斎場の中長期整備スケジュール

- ・ 新斎場は、令和17年の供用開始を目指しています。
- ・ 山口斎場は、令和18年頃から大規模改修が必要となるため、改修期間中は現斎場と新斎場の2斎場で対応します。
- ・ 現斎場は、山口斎場の大規模改修完了後に廃止する考えです。

ク 周辺環境への配慮について

- ・ 景観等：植樹による目隠しなどを検討します。また、工事中の騒音などに配慮します。
- ・ 環境対策：ダイオキシン等の抑制効果の高い設備を導入します。燃料には灯油よりクリーンな液化天然ガス（LNG）などを検討し、ばい煙等の環境対策を強化します。
- ・ 周辺道路：火葬需要を平準化する取組を継続します。山口斎場の大規模改修を全面休場せずに行う方法や工期短縮を検討し、改修期間中の里塚への火葬集中を緩和する策を検討します。

ケ 合葬墓の新設・里塚霊園管理事務所の建替えについて

- ・ 里塚霊園管理事務所は、築50年以上が経過し、老朽化が著しい状況です。
- ・ 平岸霊園の合同納骨塚は、需要の高まりから令和9年度には受入れ限界を迎える見込みです。
- ・ 合同納骨塚については、延命措置を検討していますが、将来的には新たな合葬墓の設置が必要な状況です。
- ・ 設置場所として平岸、里塚、手稲平和の市営3霊園を比較し、里塚霊園内への合葬墓の新設と老朽化している管理事務所の建て替えを同時に進行する方向で検討しています。
- ・ なお、合同納骨塚については、多くのご遺骨が納められているため、お盆時期などには多くの方がお参りにいらっしゃいますが、線香やろうそくなどの火気の使用や宗教家による供養等はご遠慮いただいています。短時間での参拝となりますので、行列ができるような混雑というのは、あまり見られません。

□ 前回の説明会でのご意見について

- ・ 里塚斎場の再整備の必要性は理解できるが、円形芝生広場は住宅地に近すぎるので、隣接地を中心検討してほしい。
- ・ 合葬墓や管理事務所も住宅地に近すぎる。
- ・ なぜ里塚で再整備をするのか。
- ・ 整備当時と比べて周辺住環境が大きく変わっていることを考慮すべき。
- ・ 会葬者の安全確保は工夫次第で可能。それよりも周辺住民を優先してほしい。
- ・ 円形芝生広場の地盤は大丈夫なのか。
- ・ 円形芝生広場は子供の遊び場になっているので反対。
- ・ ダイオキシンなどの健康被害がない形での計画としてほしい。
- ・ ばい煙などの環境影響がどの程度あるのか周知すべき。
- ・ 霊園周辺は、お盆時期を中心に大渋滞が発生し、生活道路の通り抜けも多いので対策をしてほしい。
- ・ 清田区は、里塚霊園・斎場を受け入れ、多大な貢献をしているのだから、せめて地下鉄を通してほしい。
- ・ 説明会で出された意見等に対しての答えをいただく機会を設けてほしい。

(3) 質疑応答

○ 発言者A

- ・ 敷地内、隣接地のデメリットについて、安全確保が困難だと書いてあるが、どういうことか。

○ 施設管理課長

工事をするということで、工事車両などの影響があることと、駐車場が工事エリアと近いため、斎場にいらっしゃる方との動線を確保するのが難しいということから、安全確保が難しいのではないかと挙げさせていただいている。

○ 発言者A

- ・ ガードマンを配置すれば解決できるのではないか。やり方はいくらでもあるのではないか。もう少し知恵を出してほしい。
- ・ あなたたちの家の近くに斎場ができたらどう思うか。土地の値段も下がる。ダイオキシンについても、最新設備の導入でクリーンになるとのことだが、嫌ではないのか。
- ・ あなたたちが自分の気持ちになって話しているなら、市民だって反対しない。ただ、困難だとかそういうことを言うな。仕事でもなんでも困難なんてない。やらなきゃいけない。
- ・ この文章、恥ずかしくないのか。検討する検討するとか言うやつは、やらない。やるならやるで、こういう文言を入れるな。困難だとか、やれないとか。
- ・ もう一つ、斎場の話からは、話がずれちゃうかもしれないが地下鉄は作らないといけない。なぜだかわかるか。
- ・ 今、戦争がいつ始まるかわからない。どこに逃げればいいのか。何かあれば頑丈なとこ、頑丈なとこと言うが、頑丈なところはどこにあるのか。地下ではないのか。地下鉄ではないのか。何で地下鉄を作らないのか。予算が無いなら、市会議員でも市長が、札幌は一番やばい、ロシアに攻められてき

た時のために地下鉄を作りたいと国会議員や国に言う。作れ、作らないといけない。これは市民を守るため。

- ・ それともう一つ、環境のために円形芝生広場と言っているが、ここにもリスだとかいろんな動物がいる。そういう自然、こういうところに住んでる動物をどうするのか、そういうことを調べたのか。

○ 施設管理課長

今の段階では、そういう動物だとかは調べていません。

○ 発言者A

- ・ そういうことを少しでも調べないといけないのではないか。そこには鳥も来る。毎年写真を撮りに来ている人もいる。あなたたちは机の上で検討をしているかもしれないが、私は散歩した時に、実際に見ている。ウォッチングしている人がたくさんいる。そういうことを調べてからやるのではないか。
- ・ 言葉が悪いかもしれないが、あなた方がやっていることはおかしい、資料もおかしい。この資料にある地下鉄を建てる際の要望事項の1から14まであったけど、いくつできたのか。いくつ達成できたのか。もう30年以上経ってるから、半分は終わっていないといけない。達成できていないといけない。半分達成していて、すいませんが、ここまでしかできませんでしたと言っているなら、まだ可愛いところがあるが、あなたたちが言っていることは再整備をしたいと言っているだけ。私が反対するのはそこなんだと。何も調べていない。ただこんなのを書いて出している。
- ・ この資料も地図に色分けして、番号入れて、わかりやすくしてほしい。
- ・ 以上、私は反対です。

○ 発言者B

- ・ 先ほどの説明で、この説明会は19時に終わると言っていたが、説明で30分です。残り20分しかない。その短い時間で我々、ここにいる方々がきちんと理解し、納得していただけるような時間設定だと考えているのか。
- ・ 次に、図面がありますが方位がわからない。これだけで位置を把握するのは無理。これで本当に説明になっているのか。まず、これでカチンときた。不誠実。本当の説明になってない。
- ・ この説明会、これで5回目。最後と言っていたが、これで説明会が終わって、あとは検討に入つて、諦めと進めていくというつもりの説明会なのか。それとも、理解と納得を得るまできちんと説明していくということなのか。新聞ではそういうふうに書いているが、この説明会で終えるのかということを教えてほしい。
- ・ 美しが丘、里塚のまちづくりについて、今の現状では、地震と斎場の街。そういう街になっている。だから、1回このビジョン、我々の住んでいる地域をどうしようとしているのか、教えてほしい。

○ 施設担当部長

- ・ まず、説明会については、目安を一時間とさせていただいておりますが、一時間で終了するというふうに考えているわけではございません。会場の時間があるので、最後までいけるかどうかわかりませんが、ご発言いただける方にはご発言をお願いしたいと思っています。一時間経ったから終了するということではなく、あくまでも目安ということで申し上げたというふうにご理解いただければと思います。
- ・ また、図面が分かりにくかったということに関してのご指摘について、率直に配慮が足りなかつたということは、申し訳ないと思います。
- ・ 今回の説明会が終わったら終了なのかということですけれども、まず我々としては、里塚斎場の再整備、老朽化が進んでいる中で再整備が必要だという現状にあり、何らかの形で再整備を進めたいということで、現在の検討状況についてご説明をさせていただいている。今回、5回の説明会をやっていますけれども、そこでいただいたいろいろなご意見を持ち帰って、市役所の内部でいろんなことを検討させていただいて、改めて詳しく調べることもあるかもしれませんし、それで成案を得るということになったら、どういう形かというのは、未定ですけれども、いずれにしてもまた改めてご説明

する機会を設けるというつもりでありますので、今回の説明会が終わったから、もう終了ですということではないというふうにお考えいただければと思います。よろしくお願ひします。

○ 発言者B

- 19時に用事があり、最後にちょっとだけ言わせてもらいたい。先ほども話したが、地震と斎場の街。札幌市の戦略ビジョンの中で17カ所を整備していくという構想があった。それで、その中の4カ所、真駒内、厚別、篠路、清田を先行して進めるという方針だった。だから、真駒内は地下鉄駅周辺を今整備するって言っている。厚別はご覧の通りで羨ましい。篠路もJR駅付近を整備するということで、先行の3つはやった。じゃあ、清田はどうなのか。そこを聞かせてほしい。
- 単純なことを言えば、公園があります。そこには吊り橋もあり、滑り台もあり、子供たちの遊び場所。そこで子供たちは喜んで遊んでいます。そんなのしか整備していない。それで、まちづくりはおかしい。先行して整備をしていくという4つ目の清田について、どういうビジョンを持っているか教えてほしい。

○ 施設担当部長

今のお話は地域交流拠点のお話ということでおろしいでしょうか。

○ 発言者B

地域交流拠点はイオン平岡、それを含めた街づくり、イオン平岡を含めて、イオン平岡を広げて、清田区役所と2.7kmも離れているのに、歩いて行くのか。そうではなくて、戦略ビジョンというか、何年か前に出したのを覚えていないか。市内の4カ所を先方的に取り組むと、遅れているのは清田だけ。靈園と地震の街になっている。斎場を作って、さらにそれが大きくなるのではないか。清田は靈園都市なのか。先行して進めるという話ではなかったのか。

○ 施設担当部長

すみません。申し訳ないんですけど、直接の所管ではないので、今のお話にお答えできる材料を今は持ち合わせておりません。いただいたお話については、これまでの説明会でも言っていますが、直接所管でない部分に関しては持ち帰り、関係部署にお伝えをさせていただくことにさせていただいておりますので、一旦はそれでお願いしたいと思います。

○ 発言者C

それは回答をもらえるのか。

○ 施設担当部長

いただいた意見は府内で共有させていただき、この里塚の再整備をどうするのかということで、検討させていただきます。

○ 発言者C

今の意見はあなた方には関係ないかもしれないが、そういった意見が出ましたと、回答できませんと。それはあとで、回答をもらえるのか。

○ 施設担当部長

先ほどもお話しましたが、いただいたご意見は府内で共有させていただいて、里塚斎場の再整備については、今回の5回目の説明会で終わりということではなくて、改めて成案を得たときに説明させていただく中で、その疑問点等についてお答えすることになるのかなと思っています。

○ 発言者C

思うだけでは困る。

○ 施設担当部長

まだ、お約束できるわけじゃないですが、一旦受け止めさせていただくということで、今回はお許しいただければと思います。

- 発言者C
あなた方の所管以外のことに関しても、こういうふうにしますという回答がほしい。
- 施設担当部長
できる限りのお答えはさせていただきたいと思っています。それも含めて庁内で検討させていただきたい。
- 発言者C
それはゼロ回答ではないのか。やるかやらないか、わからないのはゼロ回答。
- 施設担当部長
やるかやらないかわからないのではなく、検討させていただきます。
- 発言者C
検討すると言っても、検討して回答がなければゼロ回答。
- 施設担当部長
今、検討した結果がどうなるかはわかりませんが、検討します。
- 発言者C
どうなるかわかりませんと言っているのは、責任の所在がはっきりしていないからってことだと思うが、ゼロ回答のものをここで言われてもどうにもならない。
- 施設担当部長
今、私の中で責任を持って言えるものではありませんので。
- 発言者C
責任を持って言わなくてもいい。こういうふうになりますよってことだけでも、概略でもいいから、こういう回答をさせていただき、こういうふうにしたいと思いますよ、ということでもいいから回答できないのか。
- 施設担当部長
それも含めて、庁内に持ち帰させていただきます。
- 発言者C
持ち帰ってどうするのか。
- 施設担当部長
庁内で共有させていただきます。
- 発言者C
共有してどうするのか。
- 施設担当部長
検討させていただきます。
- 発言者C
検討して、回答がでなかったらどうする。だからゼロ回答と言っている。
- 施設担当部長
それをゼロ回答とおっしゃられたら、これ以上コメントのしようもないです。

- 発言者H
ゼロ回答だと思うが、意見を庁内で共有し、相手の部署が返事をくれなかつた。きちっと他の部署には意見を伝えてきたということは話してほしい。
- 施設担当部長
わかりました。
- 発言者C
このままだったら意味がない。意見を持ち帰って検討します。そして、こういうふうにしますという答えを持ち合わせなかつたら、説明会にならない。
- 発言者E
ちょっと、いいでしょうか。今回の説明会は、里塚の再整備に関する説明会。時間のない方もいるので、その話に集中させてほしい。
- 発言者D
 - ・ 里塚の住民からというか、札幌市民として、里塚の再整備が必要だということは重々理解した。
 - ・ 個人として、一番気に入っているところは環境対策の強化であつて、現在の火葬炉よりもダイオキシンの抑制効果の高い設備を導入すると言いつつ切っているが、これは確定していることなのか。
- 施設管理課長
新しい火葬炉になるということで、現状の里塚斎場の火葬炉についても、ダイオキシン等については基準値を満たしているところではあるのですけれども、それよりも最新の火葬炉が入ることになります。それから、排気の方ですが、里塚斎場の排気については、フィルターにスクリーンフィルターというものを使っているのですが、より新しい山口斎場の方がバグフィルターという、より性能の高いフィルターを通して排気しています。新しく斎場を整備していくにあたっては、そういうバグフィルターの導入も検討しているということです。
- 発言者D
LNGなどのクリーンなエネルギーの利用は検討段階なのか。
- 施設管理課長
検討段階で、そういうのを使つていいかというところはあるのですが、LNGの配管が靈園付近にまではきていないことがあります。配管をここまで持つてくるということについては、関連するガス会社と情報交換等はしてはいるのですが、LNGの導入については、将来必ずLNGを使うというお約束ができるところまでは進んでいません。
- 発言者D
 - ・ おそらく、ここが一番気になるんじやないかと思っている。何かを燃やす以上、煙は上がる。ここは風の強い地域だということもあって、特に一番近いところの住宅で150mぐらいしか離れていない。工事中だけではなく、10年間、20年間ずっと使っていく上で、ずっとそこから白い煙が上がつていてとか、それがこっちの方まで流れてきてということが、ありえると思っている。
 - ・ 札幌市がダイオキシンが発生していないものだから大丈夫だと説明しても、すぐに理解できないことがあるんじやないかなと思っている。
 - ・ 正直、検討しているLNGというのは、実際にインフラも整っていないので、現実的ではないと思っている。実際にはこの資料に書いてある通りにならない可能性の方が高いと思つてしまつ。結果、設計していく上でやはり難しいからとか、コストがかかるからという理由で、LPG等に変わつてしまつたときに、結局煙が上がり、私たちはこの説明を通じて理解したよねというふうにしか言えないといふか、後から何も言えなくなるというのが、多分一番気になつてゐる。

○ 施設管理課長

燃料についてですが、まだ具体的な計画場所も決まっていないというところで、ここでお約束はできないのですけれども、やはりクリーンなエネルギーを使っていける方法がないか、しっかり検討していきたいと考えております。

○ 発言者A

こういった設備について、例えば北海道はどういうものを使っているのか、青森や愛知、埼玉の火葬場はどういうものを使っているのかということを、札幌市を把握しているのか。

○ 施設管理課長

他都市の火葬場の使用燃料だとかは聞いてはいます。ただ、ここではデータを持ち合わせてないすれども、そういったことは聞いてきてはいるところです。

○ 発言者A

環境のことを考えると、クリーンなものを取り入れる必要があるのではないか。その辺はどうなのか。

○ 施設管理課長

クリーンなエネルギーを使っていきたいということで、これから計画を検討していくにあたっては、ガスなどのインフラについても関係各所と調整をしていくことになります。

○ 発言者B

- ・ そろそろ、帰らなければいけないので、一点お願いしたい。先ほど触れたように、この資料では縮尺が無い。斎場ができたときに、こんなに近いのかとなると、まずい。説明会なので、不誠実というような形にならないように、しっかりと皆さんができる形で提示してほしい。
- ・ そのためには、説明会が今日で終わりではなく、まだ続けますという約束をしてほしい。私のように、どうしても都合で帰らないといけない方もいる。説明会を今後も続けますという約束をしてほしい。

○ 施設担当部長

繰り返しになりますが、このような形で検討状況の説明会を5回行っていますが、今後、改めていただいたご意見を受けて、札幌市の考え方をご説明する機会を設けるつもりです。どういった形で説明するかはまだ決まっていませんが、そういう機会を設けるつもりではあります。

○ 発言者B

5回、5回と言いますが、我々は1回。どちらの5回なのか、住民は違う。

○ 発言者A

すぐに、調査、設計、工事となるんじやないか。検討じゃなく、計画ができている。もう、作るくなっている。

○ 施設管理課斎場担当係長

すみません、手を挙げられている方がいらっしゃいますので、お願いします。

○ 発言者E

- ・ 先ほどは声を大にして、先輩方に失礼な言い方をして申し訳ありません。お詫びします。
- ・ 本題の里塚斎場の再整備に関する件ですが、反対です。
- ・ 私は今回の里塚靈園の斎場、管理事務所の予定地の本当に直近にいる住民。それを踏まえて、まずは斎場について反対意見がある。
- ・ 今回、札幌市の計画であります近接地、円形芝生広場については住宅地に本当に接近している。大体150mぐらいではないか。
- ・ ばい煙によるダイオキシンの問題があり、非常に健康被害が懸念される。

- ・ 当然、大きな工事になり、工事での振動や騒音が問題となり、これも非常に懸念される。
- ・ いずれにしても、反対という意見になるが、とりわけ、近隣住民が一番恐れている点は、お墓もあり、火葬場もすぐ近くになるということで、今でさえ風評被害がある中で、この風評被害という部分が問題。近隣の住民にとっては精神的な不安。もう一つは不動産価値の下落。経済的にも本当に不安が懸念されている。
- ・ 今回のこの説明会も11月の中旬から今日になって20日間、合計5回行われているが、この間、やはり近隣住民としては本当に眠れないという状況が続いている。この計画が本当に進むのかというところは本当に不安がある。我々近隣住民にとって、安全安心な、より良い社会生活ができるよう、また、とりわけ若い世代の方もこれからたくさん増えてくる。現在も子供がかなり増えている。そういう方々、特に若い方は今回のこの計画について恐怖を感じている。合わせて、健康面を含めて不安を感じているというのが大多数の意見。こういったことも含めて、再検討を是非ともお願いしたい。
- ・ それともう一つ、合葬墓の新設、里塚靈園管理事務所の建て替えについて、前段の火葬場の説明と比べますと、非常に少ない文言ではありますが、こちらの方が住宅地に最接近している。
- ・ 今回のこの移転計画については、もっと近くに来るということで反対だが、札幌市のホームページを見ると、令和6年5月に新合葬墓建設・里塚靈園管理事務所建替基本計画策定支援業務の説明書と仕様書が載っていた。それを見たところ、令和4年、5年と、どこで調査したかはわからないが、今回の札幌市が持ってきた候補地で計画を実施することになっている。その中で、入札するための業者向けの説明書だと思いますが、それを見ると納骨作業者への作業環境の配慮や、参拝者の心情に配慮した外観、バリアフリー化について触れられていて、当然、事務所が担うであろう配慮、作業者への配慮というものがあり、若干だが、近隣住民への配慮という文言も載っていた。我々住民としても、納骨作業時の遺骨の粉塵の問題は関係してくる。さらに、私は愕然として見てしまったが、管理事務所に新たな計画があった。新たな計画の中で、遺骨保管庫が設けられる設計図になっていた。これが最大2000体収容。合わせて、合葬墓。カロートというコンクリートの箱のようなもので、おそらく遺骨を入れるもの。それを100程度予定しており、これが最大ピーク時の話だと思うが、6万体。6万という数のお骨が住宅の目の前にくるかもしれないということが非常に不安で恐怖感を感じた。
- ・ 今回の説明会では、ここまで説明がない。私は疑り深いので、いろいろと調べてみると、やっぱりこういう計画だった。私が話したのはピーク時の話だと思うが、いずれにしても、それだけのものができるということではないか。やはり近隣住民としては納得しがたい。改めて、この計画を見直すことを強く要望したい。
- ・ もう一つ、近隣住民の要望として、他の説明会の中でも出たというふうに聞いているが、お盆時期に心配されている住宅街の交通規制。これをぜひ、来年以降実施してほしい。住宅街には未就学のお子さんがいることや、お盆で帰省した方のお子さんが多くなる。この時期は特に近隣の道路が渋滞するので、それを避けるために住宅街に逃げてくる。我先にお墓に行こうってことで、かなりのスピードで住宅街に入ってくる。先ほど言ったように、子供が多くなってきているので、交通事故や人身事故が懸念される。今まで事故が無かったのがおかしいぐらい。
- ・ 来年から靈園使用者に管理料を徴収するということで、できればそういう方にも交通規制ということで案内をお願いできればと思う。確かに交通指導員も立っていて、住宅街に入らないような指導も何年間はしていた。その後、あまりにも幹線道路が混み、ここ数年間は参拝者のやりたい放題になっている。この時期の1週間から10日間ぐらいは、本当に朝の5時から夕方の日没まで相当数の交通量がある。警察にも相談しているが、事故がないため出動できない。参拝者が来るということであれば、札幌市からも啓発活動などをお願いしたい。事故が起きてからでは遅いので、お願いしたい。
- ・ 最後に、一点だけお聞きしたい。令和2年に札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想、令和4年に運営計画が出されている。この中で推進協議会が設置されており、当然、有識者が委員になっていると思うが、この中に2名の市民を入れるということになっている。市民からの公募について、選定基準があったのか。

○ 施設管理課長

市民の方から応募をいただき、小論文のようなものを書いていただきました。その後、面接を行い、どなたにお願いするべきかを審査して、決めているところです。

○ 発言者E

こういった協議会というのは、地元住民を無視しているのか。まずは有識者で、計画ありきで進めて、その後、こういった説明会で住民の理解を得ると、そういう形になるのか。

○ 施設管理課長

協議会については、有識者や葬儀関係の事業者などが参加しています。また、おっしゃられた通り、市民の委員もいます。極力、いろいろな方に入っていただきたい、そこで計画の内容についてお話し合いをしていただきたいということで、有識者だけで何か先に決めるのではなく、委員全員でいろいろな意見を出し合っていただきたい、計画であったり、お墓の話、火葬場の話、あとは終活についてもありますが、そういういろいろな分野について、課題となっている部分を審議会でお話し合いいただき、それを参考にしながら計画などを決めていっているということです。有識者だけで決めるということではありません。

○ 発言者E

いずれにしても、この協議会の委員の方は、反対前提の委員ではない。この事業を推進するということが検討されているということではないか。

○ 施設管理課長

事業というか、個別の事業ではなく、今、少子高齢化が進んてきて、これから亡くなる方が増えしていく、多死社会が来ると言われている。そういう中で、火葬場について、墓地について、いろいろな課題が出てくるということで、広い課題、さまざまな問題がございますけれども、そういうところを審議いただくということで、例えば、里塚斎場の再整備というのは、その中のテーマの一つになっていますが、賛成する方ばかりというわけではありません。実際に協議会自体は公開していますが、やはり委員の方から厳しいご指摘もいただいている。決して、反対しない人ばかり集めているわけではありません。

○ 発言者E

- ・ わかりました。火葬部会や墓地部会、部会それぞれで開かれてやっているようですが、この中で近隣住民に対する考え方っていうのは、どこを見ても載っていない。これは住民を無視しているんじゃないかなというふうに思う。
- ・ 我々住民の意見も含めて、十分検討してほしい。

○ 発言者F

- ・ 私も靈園の近隣に住んでいる。5回の説明会のうち、4回出席した。皆さんがどういう意見を言われるのかと思って聞いていたが、やはり地下鉄や道路に関する話が半分から1/3ぐらいあった。
- ・ やはり、札幌市が清田区に対して約束したことを、実行していないというところが、清田区の全員の不信感となっている。
- ・ 私は近隣に住んでいるので、この工程表でいくと、来年から調査、設計、工事に入ることになる。地下鉄や道路の話をすると、あと5年、10年はかかる話。中々、先の長い話になるので、実際には全体のまちづくりのビジョンについて議論しなくてはいけないと思うが、とりあえず近隣に住む者として、来年から始まる調査設計について意見を言いたい。
- ・ まず、円形芝生広場に新しい里塚斎場を持ってくるのは皆さん大反対でした。この説明会は、皆さんの意見を聞いて参考にさせていただきますという札幌市の立場で、これから、その意見を参考に計画していくことになる。当然、この5回の説明会の中で新斎場を円形芝生広場に持ってくるということには大反対となっている中で、次の説明会で円形芝生広場に新斎場を持ってきますとは決してならないと思っている。それでも円形芝生広場を持ってくるというのであれば、清田区全体が沸騰してしまう。私はそう思う。
- ・ この説明会だけでも大反対。次回、修正案ができる説明会をして、円形芝生広場を持ってくるとなると、清田区全体で大反対をしたいと思う。まずは、円形芝生広場は外す。
- ・ 次にどこに持っていくかというと、里塚靈園以外を選定するには、また5年、10年かかるかもしれない。私も近々、里塚斎場にお世話になるかもしれないし、そんなに時間はないのかなと思っている。

- ・ 現在の斎場の裏。私も現地を見てきた。十分な広さがある。ここで、なぜ現斎場の裏が隣接地と書いてあるのか、黄色の予定地が斜めを向いていたかはわかりませんが、おそらく靈柩車、あるいはバスが回転する場所を取るために斜めに配置したのではないのかと思うが、この隣接地を現在の斎場と並行して、もう少し東側に移動したら、ほとんど斜面、あるいは谷のエリアにかかるのではないか。かなり、裏は広い。
- ・ ただ、山口の改修工事中は、里塚に山口分の火葬を持ってくるとなっている。その期間は、札幌全ての火葬を里塚で引き受けるということになる。そうなると、ダイキシンなどのいろんな問題が出てくる。できるだけ、山口の改修工事期間も山口の火葬は山口でやっていただきたい。そして、せめて里塚は現在の斎場の裏に新斎場を建設してほしい。それが一番の要望。
- ・ それと合葬墓。平岸と山口と里塚の三つのうち、これを全部を里塚に持ってくるのか。

○ 施設管理課長

合同納骨塚、合葬墓が平岸靈園に一つだけあります。そこがあと数年で受け入れの限界を迎えるということで、新たに合葬墓を設けなければいけないような状況になっていて、その際、合葬墓はお墓ですので、靈園の中に作る必要があります。市営の靈園が平岸、里塚、手稻の三カ所あるのですが、その三カ所のうち、里塚靈園の中に設置するというのがいいのではないかということで検討しているところです。

○ 発言者F

平岸を無くして、里塚に持ってくるということか。

○ 施設管理課長

平岸では受け入れはできなくなりますが、お墓なので、それを移すというわけではなく、平岸には合同納骨塚がそのまま残ります。平岸の合同納骨塚に入っているお骨を一緒に持ってくるというわけではありません。

○ 発言者F

- ・ 先ほどの話にも出ていたが、合葬墓の計画位置、この資料の航空写真で見てもかなり住宅地に近い。もう、本当に茶の間から見える位置に建設しようとしている。これも非常に住民を無視した、ナンセンスの計画だと思っている。
- ・ 私は靈園内をかなり散歩で歩いていて、詳しい方だが、わざわざこの民地に近いところに持ってこなくても、園内を探せば十分に合葬墓が作れる場所がある。ここは一つ検討していただきたい。
- ・ それと、管理事務所。管理事務所をこんな民地の近くに作らなくても、今の事務所の横に建て替えできる場所が十分ある。その辺も含めて、今の管理事務所の建て替えと合葬墓の候補地には、住宅地との緩衝地帯として、緑地化して公園にしてもらいたい。やはり、いろんな意味で地元住民は負担を強いられている。この場所は靈園と住宅地との緩衝地帯として、ぜひ緑地化を考慮していただきたい。
- ・ 今回の私の意見は私の思いで話しましたが、5回の説明会の意見を集約すると、そういうことではないのか。住民はそれ以外のことでは納得しない。もちろん、斎場を他の場所、清田区以外で探すと言うならば違うのかもしれないが、それこそ長い時間がかかる話になる。今、私が話した最低限の近隣住民の要望を持ち帰って、再度検討していただきたい。

○ 発言者G

火葬場は山口と里塚を大前提として進めていると感じる。たとえば、札幌ドームに隣接する広大な国所有の農業試験所を札幌市で買い取って、斎場を建てれば、そんなに反対もでないのではないかと思っている。個人的な意見としては、農業試験場のところはほとんど活用されていないので、宅地造成などをするれば、人が増えると思う。それに応じて、地下鉄の延伸も進むのではないか。火葬場を作るか、もしくは宅地造成する方向で、土地を有効活用するためにアクションを起こすと良いのではないか。

○ 発言者H

里塚斎場の再整備をする前に、豊平川の里塚側で里塚以外にどこがあるのかというのをどのぐらい検討したのか。最初から里塚だけしか考えていなかつたのか。

○ 施設担当部長

里塚斎場を最初に作ったのは昭和50年で、市内の複数地点から里塚が適地だということで、現在の里塚斎場ができました。それから、次に里塚の位置を踏まえて、手稲山口にもう一つの斎場の場所を選定しました。今、その二カ所体制の配置というのが、札幌市としては最適な配置と考えていますので、今回の再整備にあたっては、里塚での再整備をしていきたいと考えています。

○ 発言者H

つまり、令和18年までには新しいものを作らなければいけないが、今まで他の候補地を模索することはしていないということか。

○ 施設担当部長

今回の再整備については、何度も申し上げておりますが、現在の里塚と手稲山口の配置が、札幌市の火葬場の体制として最適と考えておりますので、里塚での再整備をしていきたいと考えています。

○ 発言者H

最適地は、誰が考えているのか。住民は誰も聞いていない。昭和50年に14項目を守っていただけるということで、いいですよっていう話をして、40年間で3個しかできなかつたのに、またここに新しいものを作るという案を言う前に、何か検討しているのか。

○ 施設担当部長

3個しかできなかつたというところはわかりませんが、全部できてないっていうことについては事実です。

○ 発言者H

3個か6個か、6個でも8個でもいいが、清田の住民は、お墓をずっと持つていなさいということなのか。斎場を持っていなさいということか。

○ 施設担当部長

- ・ 繰り返しになりますが、札幌市としては、里塚を最初に整備させていただいた時に、ここが適地だということで、皆さんにご説明させていただいて、たくさんのご反対をいただきましたが、当時、清田地区の町内会連合会の方々などが特別委員会を作つて、14項目の要望書を提出し、市が善処するということを条件に受け入れていただいて、40年が経過しています。次に、山口を作るときには、里塚にあるということを前提に、場所はどこがいいのかということを、いろいろ考えて選定し、山口に作らせていただきました。合わせて、炉の数等々も踏まえ、交通事情や災害時のリスク分散の観点から考えても、里塚と山口の二斎場体制が札幌市としては最適であると考えて、今の配置になっているところです。

- ・ 里塚斎場については、施設の老朽化が進んでいて再整備が必要だという状況は間違ありません。再整備に当たっては、札幌市として最適と考えている里塚の中で再整備させていただきたいというふうに思つていてということを、繰り返しお話をしてきております。

○ 発言者H

私が聞いているのは、今回の再整備では里塚以外を検討したり、里塚以外の方々に確認した上で、里塚しかなかつたのかということ。

○ 施設担当部長

今回については、それはしていません。

- 発言者H
どこにも聞かないで、最初から里塚に決めているのか。
- 施設担当部長
繰り返しになりますが、里塚が最適だと思っているので、この形で説明をさせていただいています。
- 発言者I
 - ・ 昭和50年に里塚に決めた。それはいい。ただ、現在の住環境は当時から、かなり変わっている。これだけ住宅が増えてきている。当時の里塚は何もなかった。
 - ・ 当時、平岸の火葬場が老朽化したということで、やはり広いところで住宅がない場所ということで、おそらく里塚を選定したと思う。山口についてもそう。まさか、住宅地の真ん中に火葬場を持つてくるという発想は誰もしない。違うか。
- 施設担当部長
住宅が無いということではなく、主搬入路が住宅街を通らないということを選定の基準にしたと考えています。
- 発言者I
ここまで住宅が密集するということは考えていなかったのか。
- 施設担当部長
当時、考えていたかどうかまではわかりません。
- 発言者I
最初に言ったように住環境が全部変わっている。
- 施設担当部長
住環境が変わっているというご意見は、これまでの説明会でもご意見いただいているところで、ご意見については受け止めさせていただきたいと思っております。繰り返しの説明は省きますが、我々は今の体制が最適だと思っていますので、その中の再整備をお願いしたいということで、この説明会をさせていただいているところです。
- 発言者I
それはあまりにも安易ではないかと思っている。
- 施設担当部長
ご意見として受け止めさせていただきます。
- 発言者H
 - ・ 私の言いたいことを言ってくれたが、やはり、いきなり里塚の中で三カ所のどれがいいですかっていう説明が、ちょっとおかしいと思っている。候補地について、南区や厚別区に説明に行ったら、ダメだったので、なんとか里塚にお願いしたいということであれば、話は解る。
 - ・ いきなり里塚の中の三カ所で、そのうち二つは地形が斜めだと、木を切ったら自然破壊になるからとか、災害のリスクがあるから一番建てやすい円形芝生広場のところに来ると。
 - ・ 豊平川を挟んで、二カ所に分かれた札幌市民の利便性のためという話になっているが、里塚に住んでいる方々がどうかという説明はなかった。居住者の方々の利便性、居住性、その他についての説明がなかった。斎場利用者の利便性、最後には平岸靈園の合葬墓を里塚に持ってくる。これは再整備ではなく増築。増やすということ。斎場を住民の近くに建てて、尚且つ平岸にあるものもこちらに持ってくると、全部里塚でやるということ。それがこの案と捉えていいか。私がへそ曲がりか。
 - ・ 平岸の埋蔵可能量が限界を迎えた後、そこからは里塚靈園に埋蔵しなさいと、里塚に増やしますということではないのか。

- 施設管理課長
合葬墓については、そういうことになります。
- 発言者H
それと、三カ所の候補地を一つに集約しようとしているような誘導の資料に見える。前も言ったが、もう少しちゃんとしてほしい。それから資料の日付、わざわざ日付だけ説明会ごとに変えているが、すべての説明会で同じ資料。5回も説明会をしているのに、中身は何も変わってない。同じ資料をずっと出している。
- 施設管理課長
その通りです。
- 発言者H
5回の説明会は議事録になって、住民からこういった意見があったと、しっかりとフィードバックしてくれるのか。
- 施設担当部長
議事録については順次公開していきます。
- 発言者H
多数の反対があったという皆さんのご意見も、きちんと集約するということか。
- 施設担当部長
ご意見についても議事録として公開しますし、アンケートについても集約します。
- 発言者H
里塚斎場の再整備について、南区だとか厚別区の住民に確認せずに、里塚で再整備するという一案しか持ってこなかったということをちゃんと書いてくれるのか。
- 施設担当部長
そういったご意見があったということも残します。
- 発言者H
昭和50年に地下鉄を引くと言って、約束を守っていないのに、また再整備するということもちゃんと書くのか。
- 施設担当部長
そういったことも、ご意見として残します。
- 発言者H
そうでなければ、住んでいる人たちがかわいそうすぎる。
- 発言者I
あなたの方の計画は計画でいいと思う。札幌市が、こういうふうにしたいということだと思うから。しかし、地下鉄を通しましょうとか、いろんな整備をしましょうといった約束が守られていないまま、また新しいものをやりたいと言われても、誰が賛成してくれるのか。そこを言いたい。
- 発言者H
今回、新しく整備するので、これとこれは守る。前から出ている14項目のうち、できていない6つはします、新たにこれはします、というような案はまだできていないのか。そういうものはないのか。

- 施設担当部長
ありません。
- 発言者H
ないのか。当時、14項目の要望を出して、それを守れないで、40年も経って、また再整備をするにあたっては、何もないが、いいですかという話なのか。
- 施設担当部長
14項目の評価について、今申し上げることはできませんが、そういう話ではありません。
- 発言者H
先ほども言ったが、道路の整備だ、地下鉄の整備だ、近隣の住居だ、それから煙も配慮します。配慮しますじゃなく、きちんと決まったもので、きちんと説明してほしい。安心できるようにしてほしい。決まったことが、一つも載っていない。
- 施設担当部長
里塚斎場の再整備について、候補地を挙げています。現時点では円形芝生広場がいいと思っていますが、説明会を5回行う中で、ご意見をたくさんいただきましたので、どういう形で整備していくのか、これから検討させていただきます。繰り返しになりますが、改めて札幌市としての考え方をお示しすることを考えています。その時には、当然環境対策をどうしていくのかということも含めて、説明をすることになろうかと思っています。
- 発言者A
1回、白紙にしたらどうか。これだけ反対している。
- 発言者H
これが始まりですね。これからスタートするんですね。
- 施設担当部長
この説明会を皮切りに、再整備のあり方を検討していくために、皆さんのご意見を伺っています。
- 発言者H
ただ、里塚霊園の中だけで三つの案を出した、この案しかないということですね。他に何の案も作ってきてないんだから。
- 発言者A
どうせ資料のスケジュールどおりに進んでいくのではないか。
- 施設担当部長
スケジュールはあくまでも想定です。
- 発言者A
何を言っている。
- 発言者H
50年前に14項目の要望を出されて、約束を守れないのに、また信用しろというのか。
- 施設担当部長
その14項目の評価に関して、今はコメントできません。

- 発言者A
コメントできないもなにも、やってないだろう。やってから、言うべきではないか。違うか。やってないのに言うな。
- 施設管理課斎場担当係長
すみません、お静かにしていただきたいですか。
- 発言者H
煽ってしまって、すいません。
- 施設担当部長
すいません。いいでしょうか。
- 発言者A
やらんで言うから、おかしいことになる。何回も同じことを言うな。
- 施設担当部長
 - 申し訳ありません。地下鉄については、清田区への延伸ができていないということに関して、我々だけではなく、当然市長も含めて、なかなか厳しい状況だというのは、記者会見や地下鉄期成会の要望の場でお答えしていますけれども、責任を持って作るとしたら、やはりその採算性なども含めて、いろいろなことを考えなければならないという中で、今は厳しいというようなお話をさせていただいているところになります。
 - 個々の項目に関して、進んでいないものが、例えば9番の公立大学などもあるのでしょうか、個々の項目については、いただいたご意見を、庁内の関係部署に共有させていただきたいと思っています。
- 発言者A
白紙、白紙。
- 発言者I
負担だけを清田に持ってくるという案なのか。もう1回、清田で負担してくれというお願いなのか。
- 施設担当部長
負担してくれという言い方は違いますけれども、里塚での再整備をお願いしたいということです。
- 発言者I
お願いではない。みんな、嫌だと言っている。
- 発言者H
意見は承りましたので、各部署で説明をしてきますと、改めてその結果を皆さんに提示して、その後協議をする、説明会をする、代表者を集めいろいろすると、これから始まるということであれば、スケジュールに工事計画をどんどん書いていくこと自体、あまり良くないと思っている。工事計画があり、場所も決まっているということで物事を進められると、また裏切られるのかなと思ってしまう。
- 施設担当部長
斎場については、再整備をして供用開始をしなければならないので、それに向けての計画は作らなければならぬのですけども、今ここで決め打ちしますということを我々は考えているわけではありません。あくまでも繰り返しになりますけども、今回の説明会は、詳細につめていない部分もありますけども、現在の検討状況について説明しています。それは、逆説的になるかもしれませんのが、細かく説明すればするほど、円形芝生広場に決め打ちをする説明になってしまふかもしれません。その前に、こういうところを考えているという案段階で、皆さんのご意見を伺い、そのご意見を受け止めた上で、今後どういうふうに再整備を進めていくのかを考える機会にしたいと思っています。

- 発言者I
お願ひになるが、先ほど推進協議会の委員を市民から2人選んだと言っていたが、清田の住民を選んでくれないか。
- 施設担当部長
先ほどお話しした、推進協議会の推進委員会でしょうか。
- 発言者I
よろしくお願ひします。
- 施設担当部長
推進協議会は、里塚斎場の再整備をどうするのかを議論するわけではなく、札幌市の火葬行政全般についても話し合うことになっています。
- 発言者H
それなら、清田の斎場を考える委員会を立ち上げてもらえないか。
- 施設担当部長
ご意見として、承りました。
- 発言者D
先ほど煙の件で話した者だが、もう一つだけ確認したい。環境面で煙が住宅に流れるなどの懸念が残るが、今は使用燃料なども検討段階で、実際にその設備で煙が上がるかどうかとも踏まえて、まだわからない状態ではないか。斎場を建ててみないとわからない。煙は上がると思うが、それが住宅に流れてくるかどうかともわからない。
- 施設管理課長
今、里塚斎場を運転していますが、煙が上がっているような状況ではないのかなと思っています。さらに、今よりも新しい火葬場ができてきますので、最新の火葬炉が入り、今よりも悪いようなことにはならないのかなというふうには考えています。
- 発言者D
煙が気にならずに、においも気にならずに、近くに建てても全く近隣の方たちも気にならないような環境になるということか。
- 施設管理課長
排出基準などについては、しっかりとクリアしたような施設になるということは、大前提だと思っています。
- 発言者D
もし、そうならなかった場合の対応を考えているのか。そこは不安に思っている。
- 施設管理課長
排出基準などを満たすような形のものを作りうるというのが大前提だと思いますので、ならないということにはならないようにしたいと思います。
- 発言者D
もしその時に、においが気になると私たちが言った時にどうなるのか。当時、私はその場にはいなかつたが、1984年に要望書を提出して、それが今も続いている、皆さんの当然の懸念だと思う。もし、においが気になった時に、具体的にどういった対応をしてもらえるのかというのは結構大事なことだと思っている。それこそLNGが使用できなかった場合、灯油なり重油になるかもしれないが、それだと今までと変わらない。検討段階のものを全て検証した結果、実現できませんでしたと言わされて、そ

の時にはもう建てられ始めているのではないか。今そのまま、計画が進んだ場合、40年前の繰り返しになるのではないかと思っている。

○ 発言者J

いいでしょうか。今、全国で見れば、最新の設備で斎場を作っているところがある。その例を取り上げて、今の里塚斎場とその新しい火葬場の最新の設備とは、こういうふうに違うというのを示して説明してくれれば良いのではないか。

○ 施設管理課長

今日はその資料を持ち合わせていないということなんですが、少なくとも今の里塚斎場についても、排出基準などはしっかりと守られているところでございます。もちろん、山口斎場もその通りでございます。同じように新しい火葬場が整備されるにあたっては、特に環境面では問題のないものになるかと思います。

○ 発言者J

そもそもわからないのであれば、他で作っている最新の施設の情報を入手すればいいのではないか。

○ 施設管理課長

もちろん、そういう情報を探していただきます。

○ 発言者J

今の里塚斎場と比べて、こんなに良くなるということを、まずわかってもらわなければいけないのでないか。ただ、良くなると思いますよと言われても、何も言えません。

○ 発言者H

だから、机の上だけでやっているのではという質問ができる。

○ 発言者D

- 途中だったので、いいでしょうか。煙などは出ないということで、議事録に残してもらいたい。
- あと、個人的な話だが、仕事柄、山口斎場によく行っており、他の人たちよりは山口斎場には詳しいと思っている。そのため、ほぼゼロ距離で見ているが、正直言っておいも気になり、煙も上がっている。もちろん、今の山口斎場の設備よりも新しいものが入るので、変わらかもしれないが、燃料が変わらないのであれば、そこまで状況は変わらないのではないかという懸念もある。
- 私は煙は上がるのではないかと思っているが、再整備の結果、煙は上がらない、円形芝生広場で運動していたり、子供たちが遊んでいたり、庭で洗濯物を干しているときに全然気にならないような状況になるのであれば、現状で私が他に意見することはない。

○ 発言者K

- 正直、山口斎場で仕事があって、帰ってきた日は作業着から嫌なにおいがしている。一日中、斎場の近くにいるので、においがついているのかもしれないが、里塚でもそこまでは近くなくても、少なからず、においは流れてくるのではないかと気になっている。
- 子供とかも遊べない、ちょっと臭いとなるようなことが、毎日ではなくてもあるのではないかと思っている。そういうことは無いと説明会で言わされて、もし、そうなった場合は怒りますよと言いたい。

○ 発言者D

だから、何かあった時のために、何かしらの形で説明会の記録を残してもらえば、仮にこの案が通ってしまった時の皆さんの一つの安心材料になるのではないかと思っている。

○ 発言者F

そういうことであれば、LNGが引けなかった場合は、里塚霊園はありえない。三つの候補地があるが、LNGを引けない場合は、引ける場所に新斎場となるのか。

○ 施設管理課長

クリーンなエネルギーを検討したいというところがありますが、LNGが引けなければ灯油などを検討することになります。

○ 発言者I

- ・ それだと約束が守られていない。今ここで説明している、将来こうなりますということですが、やっぱりダメでしたという答えは聞きたくない。先ほども話したが、当時から住宅環境は大分変わっている。かなり住宅が建っている。
- ・ 山口の場合は、住宅が建っているかというと無い。山口斎場の場合、向かい側は国道があり、ほとんど農地。だから、距離がかなり確保されている。
- ・ ところが、円形芝生広場については距離が確保されていない。先ほども言った、においの問題。それは当然。我々は住宅を建てたときに、それは考えていた。

○ 発言者H

全て、再検討。

○ 発言者I

一からやってほしい。住民の意見を何も聞かないで、行政の頭でっかちの部分でやっている。

○ 発言者L

5回の説明会があったが、ほとんどの住民は回覧板で回っただけで、説明会があることも知らない。

○ 発言者V

回覧板はありません。

○ 発言者L

- ・ 回覧板が回ってこないところもある。それで説明会を開いて、いろいろと進めて、ある程度の住民に意見を聞いたとしても、それでは不足。市はどう考えているのか。もっと周知をしなければ、こういう問題は周辺の住民だけの意見を聞いて終わることになる。だから、5回で終わりではなく、パンフレットを配るとか、もっと説明会をするとか、それでないと問題は解決しない。
- ・ 先ほど、テレビで見たという方がいたが、それで説明会を開いて、意見を聞いて、それでよしとするというのは納得できない。どう考えているのか。これからも、説明会を開催してほしい。

○ 発言者H

先ほど、するって言いましたね。今日がとっかかりだって言いましたね。

○ 施設担当部長

- ・ まず、この説明会を行う際に回覧板を回しました。広報さっぽろ清田区版にも掲載させていただき、ホームページでも周知をさせていただきました。
- ・ 繰り返しになりますが、まずは我々が考えている内容についてご説明させていただき、これまで5回説明会を実施し、いろんなご意見をいただきました。いただいた意見を踏まえて、札幌市として、これからどう考えていくかということを改めて、庁内で検討させていただきます。
- ・ どういう形で進めるかはまだ決めていませんが、何らかの形で、こういうふうに里塚の再整備をしていきたいということに関してのご説明をする機会は設けるつもりですので、今回で終わりというわけではないと考えています。

○ 発言者M

火葬場を作る件について、他の地域では住民投票を行っていることがあるが、今回の里塚の再整備にあたっては、説明会だけで実行に進むのか、それとも住民投票を行う形になるのか教えてほしい。

○ 施設担当部長

昭和50年代に里塚斎場を作り、その後に山口斎場を作った時も、札幌市では住民投票というところまではやっていませんので、改めて今の段階でも住民投票というのは考えてはいないです。しっかり説明させていただいた上で、札幌市の方針を定めたいというふうに思っています。

○ 発言者N

- ・ この資料は円形芝生広場に建てようということが、見え見えの資料。現在の斎場の裏でも、きちんと考えれば、安全も考慮してできるという可能性が高い。
- ・ この資料の中で、山口斎場の敷地が4万平米ということで、里塚よりも相当広い。ここ山口で第二の斎場について検討し、運用ができるようになってから、現在の里塚斎場の場所に、環境にも配慮した設備で再構築するということを検討するべき。
- ・ 今よりも環境が良くなるような斎場が現斎場の場所にできるということであれば、住民も納得するのではないか。そういう検討をする必要がある。

○ 発言者W

もうそろそろ終わりませんか。

○ 発言者O

円形芝生広場は何平米あるのか。もしかしたら、現斎場が建ったときに緩衝地帯とか、そういう形で考えていたのか、そのあたりを教えてほしい。

○ 施設管理課長

円形芝生広場がこの形で出来ているというところについて、どういった目的なのかは申し訳ないのですが、わかりません。ただ、当時、円形芝生広場にシンボルタワーというか、タワーがあったというのをご存知でしょうか。この円形芝生広場の端っこにですね、高さは40mぐらいのタワーがありまして、この靈園内の水汲み場とかの水を配るための給水タンクがあったというふうに聞いています。そういうものが設置されるような場所であったというところは存じ上げています。

○ 発言者P

- ・ 三つだけ要望がある。
- ・ まず一つ目。この3パターンについて、どのプランにしても、反対する意見やいろんな災害のリスクはあるので、それに対応するために、もう少し詳しい理由付けをした資料が必要。それが無いと、多分誰も納得できない。
- ・ 二つ目。再整備が行われ、十年後から運用が開始され、そこから火葬場とともに暮らしをしていくという現実がある。近隣は高齢化が進んでいて、火葬場が近くなることによって土地価格が下落し、今後は空き家が増えたりとか、新たな転入の方が来ないと、どんどん空き家が目立って、治安が悪化していくというリスクが伴ってくる。そのため、他の区への転出なども考えなければいけなくなってくるかもしれない。子供もいるので、そういうリスクも住んでいる住民にとってはあり、近接地とした場合は、そこに対しての配慮が必要になる。是非、検討してほしい。
- ・ 最後の三つ目。10年後、15年後に、お二方が自分の中の仕事として振り返った時に、あれはいい決断だったなって思える結果に持っていってほしい。

○ 発言者Q

- ・ マンションに住んでいる。5階です。煙は多分きている。今で、そういう状況。靈園で何かあれば、放送などもかなり聞こえている。そういうような状況なので、今よりも近い場所に建つというは大変心配をしている。
- ・ 近所でタバコを吸われるだけでも、家に帰ってきて喘息の発作を起こすこともあり、そこまでの強い煙は入ってこないとは思うが、安全性の高いもの、クリーンなものと言われても正直、どこまで本当に大丈夫なのかというところがある。
- ・ 特に山口斎場の改修時に、一時的に里塚で現斎場と新斎場の両方を使い、数が増える。一基一基では基準を満たしているかもしれないが、全て動いた時に実際の基準がどこまでクリアされるのか、そこが心配。

- ・ この資料にある天然ガスのものでなければ清田には作らない、里塚には作らないということも考え方、この資料の内容ありきで進めるのではなく、この資料では円形芝生広場に作る資料になっているので、皆さんが言っているように、一旦は白紙に戻してしっかり考えてほしい。
- ・ 場合によっては里塚ではなく、もっと別の場所もあるのではないか。もっと住宅地に近くないところ、別のところに作る。それも大事ではないのか。なぜ、二か所なのか。札幌市内、三か所あってもいいのではないか。
- ・ 北海道という形で全体で見た場合、火葬場は札幌に集中していて、近隣の自治体は逆に減っている。そちらを借りるとか、そういったことを検討してもいいのではないか。よく議論してほしい。

○ 発言者 R

里塚が最適ということだが、それは昭和50年代に今の斎場を作った時に、住宅街を通らないから最適と判断した。18カ所の候補地のうち、里塚が最適と判断したと。それから40年経って、令和の時代になって、この理由で最適と考えているのか。住宅地を通らないで搬入できると思うか。

○ 施設担当部長

- ・ 主搬入路がというところですので、今の主搬入路は羊が丘通です。前にも言いましたが、札幌の中でも一番素晴らしい道路だと思っています。そこを通っているということと、この里塚と山口の配置がリスク分散とか、会葬者の利便性についてもそうですが、いろいろ考えた上で、今でも最適だと我々は思っています。
- ・ ただ、皆さんおっしゃるとおり、周辺住環境が変わってきていますので、再整備にあたっては、当然、周辺住環境への影響、例えばダイオキシンや煙の動向も含めて、どういうふうに配慮をしっかりとしていくか、景観も含めて考えていかなければならないと思っています。

○ 発言者 R

里塚にした理由について、二か所体制が良いという理由は聞いた。なぜ、その二か所体制が良いのか、前の方も質問されていたが、他の場所を検討しない理由についてもお聞きしたい。昭和50年の時には18ヶ所候補地があった。今回はどこも候補地を挙げずに里塚を決め打ちで進めているのはなぜか。それが、多分、この地域の方は全く納得できない。

○ 施設担当部長

現在、里塚と山口で合わせて59の炉数があります。札幌市の火葬需要は、これから増えていき、令和36年頃に最大値を迎えるのですが、その最大値を踏まえても、この火葬炉の数が概ねいいところだと思っていて、過剰供給にならないということ等を考え、今の体制が我々は最適だと考えています。

○ 発言者 R

市の最適基準であって、今ここで皆さんがずっとこの2時間言っているのは、住民の立場からして全然最適じゃないということ。実際にはもう59炉しかなくて、これから増やさなければいけない。じゃあ、なぜ他の場所を考えないのか。なぜ、他の候補地を一切考えないで、里塚一か所を決め打ちにしてやっているのか。おかしくないか。50年代の時は18箇所の候補地を挙げた、今回、南区とか東区とか挙げたらいいのではないか。なぜ、調査しないのか。

○ 施設担当部長

この質問はこれまでにお答えしたとおりとなりますので、これ以上お答えすることはできません。ご意見としてお受けさせていただきます。

○ 発言者 R

あまりにもめちゃくちゃじゃないか。驚きますよ、本当に。

○ 発言者 S

- ・ 先ほど、この円形芝生広場がどういう場所なのかということについて、札幌市の方のお答えが、今一つ分かっていないようだったので話すと、里塚美しが丘の防災マップに、赤く、はっきりと指定緊

急避難場所と書いている。これはこの地区に住む住民の命を守るためのもの。大きな災害があった時に、重要な役割を果たす。命を繋ぐためにある場所。それを知っていたか。それを調べもしないで、何も考えないで、もちろん、お亡くなりになった方を弔うということも大切なことだが、ここに住んでいる住民の命を守る場所を使って、安易に他の場所も検討せずにここに建てようとしていることに、全く納得がいかない。

- ・ そして、先ほどの発言にもあった環境汚染、煙のことをすごく気にされていた。今は里塚靈園の中で一番奥に火葬場があるが、先ほど発言された方の中には、においが来ていると言っていた方もいた。それがさらに住宅に近い場所に建てるということになって、しかもこれから令和36年に向かって火葬の件数が増えるということは、確実にもっと煙が出るということではないか。なにかしらの物質が入った空気が、この地区の空に舞い上がるということではないか。それでも大丈夫だって絶対に言えるのか。そういうこともきちんと調べて言っているのか。
- ・ この地区に関係する方たちは、そういうことを考えて、こういった意見を出されたと思う。交通渋滞のこともあります。山口と里塚以外にも別の場所で、南区、厚別区、東区、北区、まだまだ広い土地が残されているところもあると思うので、もっと他の場所も検討してほしい。

○ 発言者T

- ・ この大変な問題に対して取り組む皆さんのご苦労のことはわかるが、住民の立場に立った考え方で比較をしていかないと、このような資料を出されても、皆さんなかなか納得できないのではないか。しっかりと検討して、本庁の各部署の皆さん方とも本気な話し合いをした中で、新しい資料を出してほしい。
- ・ それから、この斎場の土地について、私たちの住んでいる場所と比較すると、地域住民のエリアは風下となっている。私自身も、このにおいが何のにおいなんだということを月に何度か経験していた。わかったことは、斎場の煙だということ。その当時、全国的にダイオキシンという化学物質の問題が出てきていた。これが悪さをしているのではないかと、当然苦言も申し上げてきたが、その後、技術者の皆さんがこの研究を進め、このダイオキシンを無害にするというようなことで、成功しましたという話も聞いたので、それだけすごい人たちがいるんだということで、当時は簡単に受け入れた。
- ・ 今回のこういった大事な話については、何回か説明会を開いていかないといけない。各区で地域ごとに1回行う。今回の説明会で終わらせるわけにはいかない。また、その何回かの中には、市長も同席させてほしい。
- ・ これまで、市長はここにある約束をないがしろにしたとは思わないが、してこなかったという部分は市長にしかわからない。前の市長からのことも含めて、引き継ぎを受けて、今に至っている。そういうことも清田区民は知りたいと思っている。
- ・ なかなか地下鉄も引かないというような状況は、いつまでも時間をかけていくべきではないと思う。市長は何回目になるかわからないが、来ていただいて、しっかりと住民の意見を聞いてくれるようにならなければいけない。
- ・ それから、隣の北広島に住んでいる方がこの斎場を利用する件数があるのかどうか、あった場合はどのくらいの件数になるのか、そういうことも合わせて調べてほしい。
- ・ 先ほど風下になっているという話をしたが、一年間で季節によってこの斎場から吹き渡る風は方向性が変わると思うが、そういうことも含めて調べてほしい。私たち住民は風下だということはもうはっきり認識している。
- ・ 一番大事な部分として、環境に気を配った計画を立ててほしい。そういう計画には見えない。しっかりと取り組んで、計画を立てて、新しい資料で市長も入れて、そして総合的に話し合いを続けていく。どちらも完全に主張を通すわけにはいかない。どこかで妥協しなければならない。ただ、この妥協は、しっかりと話し合いを続けていけば、通常の妥協とは違う。こういった話し合いを続けてほしい。

○ 発言者U

- ・ この資料は円形芝生広場への建設ありきで書いている。なぜ、この円形芝生広場が最適だと考えたのか。よく考えて資料を作っているのかと思った。
- ・ また、自衛隊のドーンドーンという音が家まで聞こえる。そういうことも考えてほしい。

- ・ それと円形芝生広場はせまいと思う。私もよく歩いているが、ちょっとせまいと思う。そういうことも考えてほしい。

○ 施設担当部長

皆様、長時間にわたり、たくさんの忌憚のない率直なご意見をいただき、本当にありがとうございます。これまで5回、説明会を行ってきたところですけども、厳しいものを含め、本当にたくさんのご意見をいただきしております。冒頭でも申し上げましたとおり、里塚斎場自体の老朽化が進んでいますので、再整備が必要だという状況にございます。今後、どういうふうに整備していくのかということに関しては、いただいたご意見をしっかり受け止めさせていただいて、市役所内部での共有、検討を進め、全体にとってどういうふうに整備していくのが良いのかということを改めて検討させていただきたいと考えております。ご参加いただいた1回目から4回目までの方にはお伝えできませんが、ご参加いただいた全ての皆様に感謝申し上げたいと思います。誠に簡単ではございますけれども、結びのご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

以上